

東京大学教養学部

オルガン演奏会

第121回演奏会

2010年11月17日(水) 18時30分

Wed 17 November 6:30 pm at Komaba Campus, The University of Tokyo

オルガン：パヴェル・コホート

Organ: Pavel Kohout

J・S・バッハ Johann Sebastian Bach (1685–1750)

オルガン協奏曲 ハ長調 BWV 595 (原曲：ザクセン＝ヴァイマル公ヨハン・エルンスト、バイオリン協奏曲ハ長調)
Orgelkonzert C-Dur, BWV 595 (nach dem 1. Satz des Violinkonzertes in C-Dur von Johann Ernst Prinz von Sachsen-Weimar)

「いざ来たれ、異教徒の救い主よ」BWV 659

Nun komm, der Heiden Heiland, BWV 659

幻想曲ト長調 BWV 572

Fantasia G-Dur, BWV 572

J・G・ラインベルガー Joseph G. Rheinberger (1839–1901)

カンティレーナ Cantilena

L・v・ベートーヴェン Ludwig van Beethoven (1770–1827)

「笛時計のための5つの小品」WoO 33 よりアレグロ

Allegro non più molto, WoO 33 (aus „Fünf Stücke für die Flötenuhr“)

J・V・H・ヴォジーシュク Jan Václav Hugo Voříšek (1791–1825)

ロンド ト長調 作品18 (パヴェル・コホートによるオルガン編曲)

Rondo G-Dur, op 18 (varhanní úprava Pavel Kohout)

F・J・ハイドン Franz Josef Haydn (1732–1809)

「笛時計のための作品」より、10. アンダンテ、15. 指示なし、27. アレグレット、30. プレスト、32. アレグロ

Aus „Werke für die Flötenuhr“: 10. Andante, 15. [ohne Bezeichnung], 27. Allegretto, 30. Presto, 32. Allegro

W・オルブライト William Albright (1944–1998)

「スイート・シックスティーンズ」オルガンのための演奏会用ラグタイム

Sweet Sixteenths, A Concert Rag for Organ

K・J・ミュルダー Klaas Jan Mulder (1930–2008)

オレンジ幻想曲 (有名なメロディによる即興曲)

Orange Fantasy (improvisation on well known melodies)

東京大学教養学部 900 番教室 (講堂)

入場無料 (先着 500 名) 開場 18 時

主催：東京大学大学院総合文化研究科・教養学部オルガン委員会
<http://organ.c.u-tokyo.ac.jp/> tel 03-5454-6139 (美術博物館)

後援：

CZECH CENTRE TOKYO



THE UNIVERSITY OF TOKYO
KOMABA
MORI ORGAN

演奏者プロフィール

第121回演奏会

2010年 11月 17日(水) 18時 30分(開場18時)



foto ©ivanmaly.cz

パヴェル・コホート (オルガン)

Pavel Kohout

1976年生まれ。プラハの音楽院及び芸術アカデミー音楽学部を卒業後、アムステルダムで勉強を続け、歴史的オルガンの研究と演奏で著名な専門家ジャック・ヴァン・オールトメルセンに師事。ヨーロッパで数々のコンクールで第一位を受賞し、2000年には、東京武蔵野市で4年に一度開かれる世界で最大の国際オルガン・コンクールで、金賞とJ・S・バッハ賞を獲得。現在、ヨーロッパの新世代のオルガニストを代表する一人。研究も研鑽中で、プラハ芸術アカデミーにて、南ドイツ・バロック・オルガン曲の演奏史についての博士論文を準備中。

ソリストとしてのみならず、数々のオーケストラとも共演し、その活躍の舞台は、ヨーロッパ、ロシア、イスラエル、ニュージーランド、シリア、日本、香港、アメリカと世界各地にまたがっている。中でも、2008年、オーストラリアの二度目の訪問時にオーケストラ・ヴィクトリアと行った、アレクサンドル・ギルマンの「オルガンと管弦楽のための交響曲第1番」の演奏は、好評を博した。演奏家としてだけでなく、チェコ国営ラジオ放送とのオルガン講習会の企画など、教育・啓蒙の面でも積極的に活動。ソリストとして発表したCDに、プラハの1673年製のオルガンを使用した、「プラハ——バロックの黄金時代 (Prague—L'âge d'or baroque)」(2008年)、1738年製のオルガンを用いた、「ボヘミアの黄金精神 (Anima Aurea Bohemiae)」(2009年)がある。いま、J・S・バッハのCDをリリースしようとしている。

寄付のお願い

■オルガン運営募金のお願い

東京大学教養学部のパイプオルガンは、1977年に森ビル社長であられた故森泰吉郎氏によって、緑に囲まれた900番教室(講堂)に設置されました。以来、音楽を愛する教職員によるオルガン委員会が中心となって定期的に演奏会が開催され、東大の学生はもとより広く市民の方々にも愛されています。

オルガン委員会では、この公開演奏会の開催費用にあてるための寄付を広く募っております。お志は、オルガン募金世話人(=オルガン委員)にお渡し頂くか、右記の銀行に振り込み頂ければ幸いです。振り込み証明書のコピーを世話人代表にお送り頂ければ、領収書をお送り致します。よろしくお願いいたします。

■募金要項

1. 金額 1口1,000円(これ以下でも構いません。多い方も歓迎)
2. 振込先: 下記のいずれかの銀行の普通預金口座
口座名義: 各銀行共通
東大教養学部オルガン運営募金
世話人代表 川中子義勝(かわなごよしかつ)
口座番号: 三菱東京UFJ銀行渋谷中央支店 口座番号 5887975
三菱東京UFJ銀行渋谷支店 口座番号 4741082
みずほ銀行渋谷支店 口座番号 934287
横浜銀行下北沢支店 口座番号 0059803
三井住友銀行渋谷駅前支店 口座番号 3851081

〒153-8902 東京都目黒区駒場 3-8-1
東京大学大学院総合文化研究科・教養学部オルガン委員会
<http://organ.c.u-tokyo.ac.jp/> tel 03-5454-6139(美術博物館)